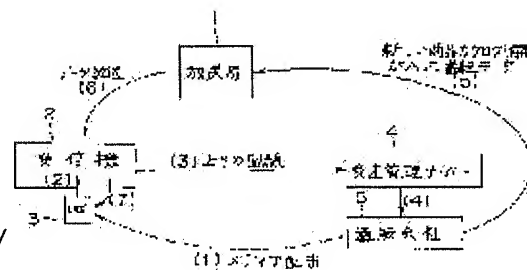


(11)Publication number : 2002-015153  
(43)Date of publication of application : 18.01.2002

(21)Application number : 2000-197192 (71)Applicant : TOSHIBA CORP  
(22)Date of filing : 29.06.2000 (72)Inventor : KAMATA TOSHIO

**SOLUTION:** The recording medium 3 where an identifier capable of discriminating a broadcasting station 1 or its broadcasting program is recorded and merchandise catalog information is stored is prepared, and the catalog information of the medium 3 is updated with data transmitted by the data broadcasting of the station 1. The receiver 2 displays the catalog information written on the medium 3 on the display, and a user can select merchandise while interactively operating on the screen and transmit ordering data at an order receiving server through a line. As the recording medium 3, the memory card that is small in size and light in weight despite of being mass in capacity is used.



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-15153

(P2002-15153A)

(43) 公開日 平成14年1月18日 (2002.1.18)

| (51) Int.Cl. <sup>7</sup> | 識別記号  | F I           | 7-73-1)* (参考) |           |
|---------------------------|-------|---------------|---------------|-----------|
| G 0 6 F 17/60             | 3 1 0 | G 0 6 F 17/60 | 3 1 0 E       | 5 B 0 4 9 |
|                           | Z E C |               | Z E C         | 5 B 0 7 5 |
|                           | 3 2 8 |               | 3 2 8         | 5 C 0 6 4 |
| 17/30                     | 3 4 0 | 17/30         | 3 4 0 A       |           |
| H 0 4 N 7/173             | 6 2 0 | H 0 4 N 7/173 | 6 2 0 A       |           |

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 8 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-197192(P2000-197192)

(22) 出願日 平成12年6月29日 (2000.6.29)

(71) 出願人 000003078

株式会社東芝

東京都港区芝浦一丁目1番1号

(72) 発明者 鎌田 寿夫

埼玉県深谷市鶴屋町一丁目9番地2号 株

式会社東芝深谷映像工場内

(74) 代理人 100076233

弁理士 伊藤 進

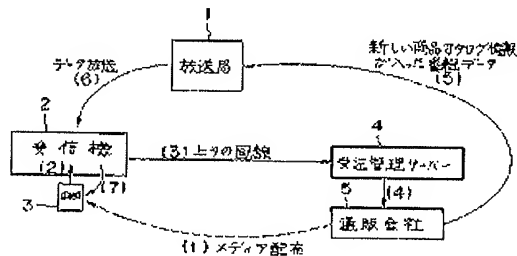
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 通信販売方法、システム、受信機及び記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 データ放送を利用して、記録媒体に記憶したカタログ情報の更新が可能であると共に、通信時間及び通信コストの削減が可能な通信販売方法、システム、受信機及びメモリカードを提供すること。

【解決手段】 放送局1 或いはその放送番組が識別可能な識別子が記録されかつ商品のカタログ情報が記憶されている記録媒体3 を用意し、放送局1 のデータ放送で送られてくるデータで記録媒体3 のカタログ情報を更新する。受信機2 は記録媒体3 に書き込まれたカタログ情報をディスプレイに表示し、ユーザーは画面上で対話的に操作しながら商品選択し、検索を通して受注サーバーにて発注データを送ることができる。記録媒体3 としては大容量であるが小型で軽量のメモリカードを使用する。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】放送局或いはその放送番組が識別可能な識別子が記録されかつ商品のカatalog情報が記憶されている記録媒体を用意し、前記放送局のデータ放送で送られてくるデータで前記記録媒体のカatalog情報を更新するようにしたことを特徴とする通信販売方法。

【請求項2】放送局或いはその放送番組が識別可能な識別子が記録された記録媒体を用意し、前記放送局のデータ放送で送られてくるカatalog情報のデータを前記記録媒体に記録及び更新するようにしたことを特徴とする通信販売方法。

【請求項3】顧客管理するために、通販会社は前記記録媒体を配布することを特徴とする請求項1又は2に記載の通信販売方法。

【請求項4】請求項1乃至3のいずれか1つの通信販売方法における受信機であって、前記データ放送で送られてくるデータに含まれる識別子と前記記録媒体に含まれる識別子の一致を検出し、一致した場合に受信したデータ放送のデータで前記記録媒体のカatalog情報を更新することを特徴とする受信機。

【請求項5】請求項1乃至3のいずれか1つの通信販売方法における記録媒体であって、特定言語のフォーマットで前記カatalog情報及び識別子が記録されていることを特徴とする記録媒体。

【請求項6】記録媒体装着部と、データ放送番組を受信する受信手段と、前記記録媒体装着部に装着されている記録媒体に含まれる識別子を検出する手段と、受信したデータ放送番組に含まれる識別子を検出する手段と、

受信したデータ放送番組の識別子と前記記録媒体に含まれる識別子と比較する手段と、比較の結果、同一情報提供者からの更新されたカatalog情報を含むデータ放送番組であると判断した場合に受信した放送番組データを前記記録媒体に書き込む手段と、前記記録媒体に記憶されたデータ放送番組を再生する手段とを具備したことを特徴とする受信機。

【請求項7】請求項6記載の受信機と、データ放送番組のフォーマットでカatalog情報が記憶された記録媒体と、

データ放送番組で最新のカatalog情報を送信するデータ放送サーバーと、

前記受信機から通信回線を通して送られる商品受注情報を処理する受注管理サーバーとを具備したことを特徴とする通信販売システム。

【請求項8】前記記録媒体は、カatalog情報及び識別子のほかに、さらに更新履歴情報を記憶したことを特徴とする請求項5又は6に記載の記録媒体。

【請求項9】さらに、ユーザー操作手段と、通信モデムを具備し、カatalog情報に含まれるスクリプトにしたが

(2)

特開2002-15153

2

って情報を提示している間に、ユーザーの選択操作に応じて、所定サーバーとの間でデータ通信することが可能なことを特徴とする請求項6に記載の受信機。

【請求項10】前記請求項6記載の受信機と、請求項8記載の記録媒体と、

更新されたカatalog情報を識別子と更新履歴情報を含めてデータ放送で放送するデータ放送サーバーとを具備したことを特徴とする通信販売システム。

【請求項11】請求項9記載の受信機と、請求項8記載の記録媒体と、

更新されたカatalog情報を識別子と更新履歴情報を含めてデータ放送で放送するデータ放送サーバーと、

前記受信機に含まれる通信モデムと通信回線を通して商品受注情報に関してデータ通信を行う受注管理サーバーとを具備したことを特徴とする通信販売システム。

【請求項12】請求項8記載の記録媒体は、さらに顧客識別情報及び受注履歴情報を記憶することを特徴とする記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

20 【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、データ放送とカatalog情報が記憶されている記録媒体とを利用する通信販売方法、システム、受信機及び記録媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】ディジタル放送として、高精細テレビジョンを含むテレビジョンサービスと音声放送サービスは、技術的な条件に関して標準方式が規定され、通用確認を含むARIB（電波産業会；Association of Radio Industries and Businessの略）規格の検討が進められている。一方、文字、図形、画像、音声、制御情報などのデータを組み合わせて様々なサービスが可能なデータ放送は、今後の技術進歩を受けて多様なニーズと発展が予想される。

【0003】データ放送サービスとしては、テレビジョンに重ねて表示する字幕と文字スーパー、及び画像、音声、データを統合化したマルチメディアサービスが想定される。マルチメディアサービスとは、ディジタルの特質を活かして、複数の表現メディアを統合して提示する情報を対話的（インタラクティブ）に視聴できるメディアによるサービスである。

【0004】従来、アナログ地上放送において、テレビジョン放送信号の空直帰線消去期間を使用するデータ多重放送が行われている。

【0005】例えば特願平7-195116号明細書に記載されている双方向通信装置では、データ放送受信装置に通信モデムを内蔵し、その双方向通信機能を利用したテレビショッピングシステムおよびオンラインショッピングシステムが提案されている。

【0006】このようなテレビショッピングシステム

(3)

特開2002-15153

3

は、テレビショッピング番組で紹介した商品を購入する画面をデータ放送で送出し、リモコンなどの入力操作で通信モデムを介して発注することにより簡単に商品を購入できるものである。

【0007】また、上記のようなオンラインショッピングシステムでは、データ放送による商品紹介と購入のための画面を繰返し放送し、視聴者の利用したい時間に合わせた利用が可能で、かつインターネットによるオンラインショッピングと比較して、通信媒体として通信回線に依らず放送電波を利用するものであるため、商品情報を視聴している間には特に通信コストがかからないという特徴を有する。

【0008】一方、通信販売の市場では、前記したテレビショッピング以外に、印刷カタログによるカタログショッピングがある。これは、詳細な商品カタログによりテレビショッピングでは扱えない量の商品を、利用者が好きな時間に見て、購入検討ができるため、大変普及している。

【0009】さらに、特開平7-295998号公報で提案されているように、大容量の光磁気ディスクやCD-ROMなどの電子メディアを利用した電子商品カタログも提案されている。特に光磁気ディスクを利用した電子カタログではオンラインによる内容更新が可能なのことも提案されている。

【0010】また、特開平10-162079号公報には、端末とサーバー間を通信回線で結びCD-ROMのような書き換えできない記録媒体から膨大な商品情報を読み出し発注することによりオンラインショッピングを実現したものもある。

【0011】さらに、特開2000-20552号公報には、CDなどの書き換えできない記録媒体から広告又はカタログ情報を読み出し、パソコンからオンラインでアンケート回答や通販申し込みを行うものもある。

【0012】また、昨今のインターネットブームを受けて、インターネット接続機能を有するパソコンを利用したオンラインショッピングの普及が期待されている。

【0013】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、特開平7-195116号明細書に記載されている、従来のデータ多重放送を利用したテレビショッピングシステムにおいては、放送されているデータを読み込んで表示するものでありかつデータ放送のデータ帯域が狭く、十分な商品情報を放送することが困難であると言う欠点がある。

【0014】また、印刷媒体によるカタログショッピングでは商品の入れ替えの度に新しいカタログを印刷しなければいけないという欠点がある。

【0015】また、特開平7-295998号公報で提案されている大容量の電子カタログを利用した装置は一般に高価であり、内容の書き換えをする場合にはさらに

4

高価な装置が必要ばかりか、書き換えを行う場合は通信回線を利用して行うため書き換え時にはデータ供給サーバーに接続された通信回線が一入一人に対して専有されてしまい、ユーザー、通販会社とも通信時間と通信コストが多くかかるという欠点を有する。

【0016】また、特開平10-162079号公報で提案されているオンラインショッピングシステムは、端末側のRAMを書き換えることで商品情報を更新可能であるが、CD-ROMの記録媒体の情報は更新できないと共に、端末側のデータの書き換えには通信回線を利用するため、上述の通信回線利用の場合と同様に通信時間と通信コストがかかるという欠点がある。

【0017】また、特開2000-20552号公報についても、CDの記録媒体の書き換えができないと共に、通信回線を利用するため、通信時間と通信コストがかかるという問題がある。

【0018】そこで、本発明は、上記のような従来の問題を解消するものであり、データ放送を利用して、記録媒体に記憶したカタログ情報の更新が可能であると共に、通信時間及び通信コストの削減が可能な通信販売方法、システム、受信機及び記録媒体を提供することを目的とするものである。

【0019】

【課題を解決するための手段】本発明による通信販売方法は、放送局或いはその放送番組が識別可能な識別子が記録されかつ商品のカタログ情報が記憶されている記録媒体を用意し、前記放送局のデータ放送で送られてくるデータで前記記録媒体のカタログ情報を更新するようにしたことを特徴とする。

【0020】或いは、本発明による通信販売方法は、放送局或いはその放送番組が識別可能な識別子が記録された記録媒体を用意し、前記放送局のデータ放送で送られてくるカタログ情報のデータを前記記録媒体に記録及び更新するようにしたことを特徴とする。

【0021】また、上記通信販売方法では、顧客管理するために、通販会社は前記記録媒体を顧客に配布する。

【0022】本発明による受信機は、上記通信販売方法における受信機であって、前記データ放送で送られてくるデータに含まれる識別子と前記記録媒体に含まれる識別子の一致を検出し、一致した場合に受信したデータ放送のデータで前記記録媒体のカタログ情報を更新することを特徴とする。

【0023】本発明による記録媒体は、上記通信販売方法における記録媒体であって、特定言語のフォーマットで前記カタログ情報及び識別子が記録されていることを特徴とする。

【0024】さらに、本発明による受信機は、記録媒体装着部と、データ放送番組を受信する受信手段と、前記記録媒体装着部に装着されている記録媒体に含まれる識別子を検出する手段と、受信したデータ放送番組に含ま

(4)

特開2002-15153

5

5

れる識別子を検出する手段と、受信したデータ放送番組の識別子と前記記録媒体に含まれる識別子を比較する手段と、比較の結果、同一情報提供者からの更新されたカタログ情報を含むデータ放送番組であると判断した場合に受信した放送番組データを前記記録媒体に書き込む手段と、前記記録媒体に記憶されたカタログ情報を再生する手段と、を具備したことを特徴とする。

【0025】本発明による通信販売システムは、前記の受信機と、データ放送番組のフォーマットでカタログ情報が記憶された記録媒体と、データ放送番組で最新のカタログ情報を送信するデータ放送サーバーと、前記受信機から通信回線を通して送られる商品発注情報を処理する受注管理サーバーと、を具備したことを特徴とする。

【0026】さらに、本発明による記録媒体は、カタログ情報及び識別子のほかに、さらに更新履歴情報を記憶したことを特徴とする。

【0027】本発明においては、商品カタログはデータ放送番組のフォーマットで記録媒体に記憶されて配布され、それをデータ放送受信機の記録媒体装着部に装着して再生することにより自由に商品カタログを見ることが可能である。

【0028】さらに、商品情報の入れ替えあるいは更新の必要が生じた場合には情報提供者はデータ放送を利用して更新された情報を放送することによりユーザーが所有する記録媒体のカタログ情報を更新することが可能である。

【0029】また、ユーザーはカタログ情報がデータ放送番組の特定言語のフォーマットで記述されているため、画像情報の他にスクリプトによるユーザーインターフェース（GUI）を構築することができ、簡単な操作で商品購入を行うことが可能となるものである。

【0030】記録媒体として半導体メモリカードを用いることができる。現在、メモリカードの容量の進化はとどまることを知らず、大容量のCD-ROMなどと同容量あるいはそれ以上になる時も遠くない状況にある。従って、小型軽量で携帯に便利なスマートメディアなどのメモリカードを使用することで、十分な画像情報（カタログ情報）が記憶されている記録メディアを、多数のユーザーに配布することが容易である。そして、データ放送を利用して多数のユーザーのメモリカードを一度に更新することができ、電話回線を用いる従来の方式に比べて通信時間及び通信コストが節約できる。

【0031】

【発明の実施の形態】 発明の実施の形態について図面を参照して説明する。図1乃至図3を参照して本発明の実施の形態を説明する前に、図4を参照して一般的なデジタル放送受信機の構成例について説明する。

【0032】例えばBSデジタル放送システムにおいては、放送局に設けられたデジタル放送送信機にて、映像データと音声データを動画圧縮の国際標準であるM

PEG2により圧縮し、圧縮した映像データ及び音声データからなるAVデータを、各ユーザに対する個別情報等、各種の情報と共に多重化し、パケット形式に変換して、更に秘匿性を確保するためのスクランブル処理等、必要な処理を施した後、送信アンテナから放送衛星（BS）へ向けて送信する。個別情報には例えば、放送事業者（放送局）との契約内容、及びスクランブル解除のための鍵情報が含まれている。

【0033】デジタル放送受信機では、放送衛星（BS）からのデジタル放送信号を受信アンテナによって受信し、受信した信号に対し送信時とは逆の処理を施して、音声信号及び映像信号を生成し、これらの信号をTV受像機へ供給して、映像及び音声を再生する。

【0034】一方、デジタル放送のデータ放送では、従来のテレビジョン放送信号にデータを多重するデータ多重放送とは異なり、文字や図形だけでなく、静止画、動画、音声など多彩な表現が可能である。デジタル放送受信機には、標準でデータ放送受信機能が内蔵される予定となっている。データ放送番組は、データカルセル（回転木馬）といった方式で繰り返し送信される。データ放送では例えば「天気」番組の他にも「お知らせ」など独立型番組やテレビ連動型番組など様々な番組が可能となる。

【0035】データ放送におけるデータサービスを受けるためには、受信機内に、蓄積機能、受信機能、通信機能、提示機能が必要とされる。例えば、受信提示においては、データは受信機メモリに蓄積され、視聴者の操作に応じて対話的に提示される。また、映像・音声の蓄積機能により、テレビジョン番組の自動更新録画、予約録画、ダイジェスト再生、追っかけ再生などが可能である。また、通信機能を用いれば、ショッピングやアンケートなど視聴者参加番組に対して、視聴者からアクセスして申し込みや回答を送ることが可能となる。

【0036】図4は一般的なデジタル放送受信機の構成例を示している。本受信機は比較的簡易な構成の受信機であり、蓄積機能に制約がある。つまり、チューナ～TSデコーダまでの回路系統は1系統となっており、異なるトランスポートストリーム（TS）に関する蓄積動作は視聴者が視聴していないときのみ可能となっている。なお、受信機能を複数化（チューナ～TSデコーダまでの回路系統を2系統装備）すれば、裏番組録画などが可能となる。

【0037】図4において、31はRF入力端子であり、BSデジタル放送では1GHz帯のPSK変調波がパラボラアンテナに取付けられた屋外ユニットから導入される。なお、地上波デジタル放送では、RF入力端子31にはVHF及びUHF帯のOFDM変調波がアンテナから導入される。

【0038】RF入力端子31に導入されたデジタル変調波は、チューナ32で周波数変換され、復調・復号

(5)

特開2002-15153

7

8

部23でディジタル変調方式に対応して復調され、さらに誤り訂正などを行って復号がなされる。復調・復号部33で復号された信号ストリームは、MPEGトランスポートストリーム形式（以下TS）のバケットとなっており、TSデコーダ34でデスクランブル動作及びTSバケット毎のフィルタリング（分離）が行われる。MPEG-AVデコーダ35は映像デコード回路と音声デコード回路とで構成されている。TSデコーダ34からの映像に関するバケットはMPEG-AVデコーダ35内の映像デコード回路へ、音声に関するバケットはMPEG-AVデコーダ35内の音声デコード回路へ、データ放送の番組に関するバケットはCPU42へ、視聴制御（例えば特定のユーザのみが視聴可能な限定受信制御、以下CAS）に関するバケットはICカード回路44へ導入される。

【0039】MPEG-AVデコーダ35内の映像デコード回路で再生された映像データは、さらにアナログ映像信号に変換され、合成部45を経て映像出力端子48へ出力される。MPEG-AVデコーダ35内の音声デコード回路で再生された音声データは、さらにアナログ音声信号に変換され、合成部46を経て音声出力端子47へ出力される。受信機全体を制御する制御部は、演算及び判断機能を有するCPU42と、プログラムデータを格納すると共にデータ放送における文字、映像及びビスクリプトのデータを蓄積するためのフラッシュメモリ（EEPROM）で構成されたROM40と、作業用メモリであるRAM41とを有しており、上述した受信機内の各部ブロックを制御することが可能である。

【0040】TSデコーダ34で分離して取り出されたデータ放送の番組データはCPU42に送られて復号され、文字やグラフィックス（絵）や音声となり、文字やグラフィックスの部分はオンスクリーンディスプレイ部（OSD部）36で表示用画像信号に変換された後、合成部45でMPEG-AVデコーダ35からのディジタル放送の映像信号に重畳される形で映像出力端子47から出力される。また、CPU42で復号されたデータ放送の音声部分は付加音デコーダ28で音声信号に変換された後、合成部46を経て音声出力端子48から出力される。さらに、ディジタル放送の音声放送サービスの信号についても、TSデコーダ34で分離後、CPU42で復号されPCMデコーダ37で音声信号に変換された後、合成部46を経て音声出力端子48から出力される。なお、符号39はMPEGデータを復号処理する際に用いるRAMであり、43はデータ放送における視聴者参加の双方向サービスなどに用いる通信用のモデムである。

【0041】図1は本発明の一実施の形態の通信販売システム及びその方法の説明図を示している。

【0042】図1において、放送局1はディジタル放送におけるデータ放送サーバーを備えたディジタル放送

信機であっても、或いは現行の標準テレビジョン放送におけるデータ多重放送サーバーを備えたアナログ放送信機であってもよい。放送局1からは放送電波でディジタル放送のデータ放送信号或いは現行アナログ放送のデータ多重放送信号（ディジタル放送の場合も、現行アナログ放送の場合も、以下単にデータ放送という）がユーザーの受信機2に送られる。放送局1におけるデータ放送サーバーは、データ放送番組で最新の広告を含む商品カタログ情報を送信することが可能であり、データ放送番組データには放送局1或いはその放送番組を識別する識別子が付されている。

【0043】受信機2の構成は、例えばディジタル放送のデータ放送における受信機について言えば図4に示した受信機に対して、商品カタログ情報が記憶されているメモリカードなどの記録媒体3を用意し、この記録媒体3を着脱自在に装着する構成とし、記録媒体3からカタログ情報を読み出して受信機ディスプレイに表示し、ユーザーが受信機操作手段にて対話的な操作を行い、受信機通信手段である通信モデム（図示せず）に商品発注等の通信も行えるようにしてある。

【0044】つまり、受信機2に設けられた記録媒体装着部（図示せず）には記録媒体3が着脱自在に装着されるようになっていて、受信機2の通信モデム（図示せず）を利用することによって、ユーザーの発注操作に応じて上りの通信回線を利用して受注管理サーバー14と通信を行えるようになっている。上りの通信回線としては、通常の電話の有線回線を利用するものでも、携帯電話などの無線回線を利用するものでもよい。

【0045】記録媒体3は、例えばスマートメディアやSD（Super Density Disk）カードのような半導体メモリカードで構成され、データ放送番組の特定言語のフォーマット（例えばXMLフォーマット）で符号化された商品カタログ情報が記憶されると共に放送局或いは放送番組を識別する識別子が予め記憶されている。

【0046】放送局1から送られてくる番組データ、及び記録媒体3に記録された番組データは少なくとも文字、映像及びビスクリプトのデータで構成されている。つまり、広告データ等を含む商品カタログ情報の文字や映像データを含んでおり、更には対話的に内容を開覧したり発注操作が行える手順（スクリプトデータ）が組み込まれている。ここでは、番組データは、例えば独立データ放送によるデータであり、同時刻に放送されるテレビジョンサービスの映像や音声とは基本的に独立したデータである。

【0047】受注管理サーバー4は受信機2から通信回線を通して送られる商品受注情報を処理するものである。受注管理サーバー4は、通販売社に設置されていても、或いは別の収発局内の設置されていてもよい。

【0048】図1のように構成された通信販売システムにおける通信販売方法について、図1に示す符号(1)～

9

(7)に沿って以下に説明する。

【0049】(1) 通販会社が商品カタログ情報の入った記録媒体3としてメモリカードを配布する。

【0050】(2) ユーザーは、受信機2に上記記録媒体3を装着し、記録媒体3からカタログ情報を読み出して受信機2のディスプレイに表示し、受信機2のキーボードなどの操作手段を用いて画面上で対話的に操作して商品カタログ情報を見ることができる。

【0051】(3) ユーザーは、気に入った商品を対話的な操作の中で発注操作することにより、受信機2は通信モデムを利用して上りの回線を通して受注管理サーバー4に発注データを送信する。

【0052】(4) 受注管理サーバー4の発注データを元に、通販会社5は商品を発送する。

【0053】(5) 通販会社5は、新しい商品カタログ情報の入った番組データを放送局1に提供する。

【0054】(6) 放送局1は独立データ放送で番組データを送信する。

【0055】(7) 受信機2は番組データを受信して、その受信データがメモリカードと同一のカタログ情報の最新版であれば、メモリカードの内容を更新する。

【0056】なお、記録媒体3には、カタログ情報及び識別子のほかに、さらに更新履歴情報や、顧客識別情報、発注履歴情報を記憶するようにしてもよい。

【0057】図2は本発明の他の実施の形態の通信販売システム及びその方法の説明図を示している。図1の実施の形態では放送局から放送電波でデータ放送を送信する場合について説明したが、図2の本実施の形態ではCATV放送局からケーブルを介してデータ放送を送信する場合について説明する。

【0058】図2において、CATV放送局11はディジタル放送におけるデータ放送サーバーを備えたディジタル放送送信機であっても、或いは現行の標準テレビジョン・データ多重放送サーバーを備えたアナログ放送送信機であってもよい。CATV放送局11からはCATVケーブルの下り回線を介してデータ放送信号がユーザーの受信機12に送られる。放送局11におけるデータ放送サーバーは、データ放送番組で最新の広告を含む商品カタログ情報を送信することが可能であり、データ放送番組データには放送局11或いは放送番組を識別する識別子が付されている。

【0059】受信機12の構成は、図1の場合と同様であり、例えばディジタル放送のデータ放送における受信機について言えば図4に示した受信機に対して記録媒体装着部（図示せず）が設けられており、商品カタログ情報が記憶されているメモリカードなどの記録媒体13を着脱自在に装着する構成としてあり、カタログ情報を記録媒体13から読み出してディスプレイに表示し、操作手段にて対話的な操作を行って商品発注等のデータをCATVケーブルの上り回線を通し放送局11に送信する

(6)

特開2002-15153

10

ことも行えるようにしてある。発注データはCATV放送局11を経て受注管理サーバー14に送信される。

【0060】記録媒体13は、スマートメディアやSD（Super Density Disk）カードのようなメモリカードで構成され、データ放送番組のフォーマットで符号化された商品カタログ情報が記憶されると共に放送局11或いは放送番組を識別する識別子が予め記憶されている。

【0061】放送局11から送信されてくる番組データ、及び記録媒体13に記録された番組データは、少なくとも文字、映像及びスクリプトのデータで構成されている。つまり、広告データ等を含む商品カタログ情報の文字や映像データを含んでおり更には対話的に内容を開覧したり発注操作が行える手順（スクリプトデータ）が組み込まれている。ここで、番組データは、例えば独立データ放送によるデータであり、同時刻に放送されるテレビジョンサービスの映像や音声とは基本的に独立した独自の内容のデータである。

【0062】受注管理サーバー14は受信機12から通信回線を通して送られる商品受注情報を処理するものである。受注管理サーバー14は、通販会社15に設置されていても、或いは別の収束局内の設置されていてもよい。

【0063】以上のように構成された通信販売システムにおける通信販売方法について、図2に示す符号(1)～(7)に沿って以下に説明する。

【0064】(1) 通販会社が商品カタログ情報の入った記録媒体13としてメモリカードを配布する。

【0065】(2) ユーザーは、受信機12に上記の記録媒体13を装着し、記録媒体13からカタログ情報を読み出して受信機12のディスプレイに表示し、受信機12のキーボードなどの操作手段にて画面上で対話的に操作して商品カタログ情報を見ることができる。

【0066】(3) ユーザーは、気に入った商品を対話的な操作の中で発注操作することにより、受信機12は発注データを上りの回線を通してCATV放送局11に送りCATV放送局11は受注管理サーバー14に発注データを送信する。

【0067】(4) 受注管理サーバー14の発注データを元に、通販会社15は商品を発送する。

【0068】(5) 通販会社15は、新しい商品カタログ情報の入った番組データをCATV放送局11に提供する。

【0069】(6) CATV放送局11は下り回線を通して独立データ放送で上記の番組データを送信する。

【0070】(7) 受信機12は番組データを受信して、その受信データがメモリカードと同一のカタログ情報の最新版であれば、メモリカードの内容を更新する。

【0071】なお、記録媒体13には、カタログ情報及び識別子のほかに、さらに更新履歴情報や、顧客識別情報、発注履歴情報を記憶するようにしてもよい。

(7)

特開2002-15153

11

12

【0072】図3は図1又は図2における受信機の機能的構成のブロック図を示している。図3に示す受信機は、図示しないアンテナの屋外ユニットケーブルまたはCATVケーブルが接続するRF入力端子21と、受信手段22と、画像再生手段23と、表示手段であるディスプレイ24と、CPUなどで構成される制御手段25と、記録媒体であるメモ리카ード27を装着するための記録媒体装着部である。メモ리카ードスロット26と、ユーザー操作手段28と、通信モデムなどの通信手段29と有して構成されている。

【0073】受信手段22は、少なくとも文字、映像及びスクリプト(予め登録された一連の作業手順)の各データを有するデータ放送番組を受信する。

【0074】制御手段25は、メモ리카ードスロット26に装着されているメモ리카ード27に記録されている識別子を検出する手段と、受信手段22で受信したデータ放送番組に含まれる識別子を検出する手段と、受信したデータ放送番組の識別子と前記メモ리카ード27に含まれる識別子と比較する手段と、比較の結果、同一情報提供者からの更新されたデータ放送番組であると判断した場合に受信した放送番組を前記メモ리카ード27に書き込む手段とを有している。

【0075】画像再生手段23は、受信したデータ放送番組の他に前記メモ리카ード27に記憶されたデータ放送番組を再生して、ディスプレイ24に表示する。

【0076】前記メモ리카ード27には、データ放送番組のフォーマットで商品カタログ情報が記憶される一方、番組識別コードのほか、番組データの更新履歴情報、さらに顧客識別情報及び発注履歴情報を記憶することができる。

【0077】また、ユーザー操作手段28と通信手段29とで、データ放送番組に含まれるスクリプトにしたがって番組を提示している間に、ユーザーの選択操作に応じて、所定の受注サーバーとの間でデータ通信して発注データなどを送信することが可能である。

【0078】上記の構成では、図示しない放送局のデータ放送サーバーは、更新されたカタログ情報を番組識別コードと更新履歴情報を含めてデータ放送で放送する。受信機は送られてくる更新されたカタログ情報が同一情報提供者のものであるかを判定した後メモ리카ード27に書き込んで更新する。更新されたカタログ情報はディスプレイ24に表示され、ユーザーの選択操作に応じて商品発注情報が通信モデム29と通信回線を通して図示しない受注管理サーバーに送られる。

【0079】以上述べた本発明では、i) スマートメディアやSDカードのメモ리카ードを例えばXMLフォーマット(次世代のインターネットで使用する予定の言語)で電子化されたカタログ情報に仕立ててカタログ通

販に利用する。ii) これ自体はパッケージメディアであるが、カタログ情報の更新にデータ放送を利用する。iii) さらに、モデム機能を有しているのでカタログ情報を見ながらGUIによる商品購入ができる。iv) 受信機能を複数化(チューナ～TSデコーダまでの回路系統を2系統装備)すれば、データ放送のデータ帯域が狭くても独立データ放送の利点を生かし、視聴者が他のテレビ番組等を視聴している間などでも大容量の記録媒体に長い時間をかけて受信させることが可能である。

10 【0080】尚、以上述べた実施の形態では、通販会社は予めカタログ情報を記憶した記録媒体をユーザーに配布するように説明したが、本発明では、データ放送を送出する放送局の識別子が記録されていることでカタログ情報がデータ放送のデータによって記録可能であれば、予めユーザーに配布する記録媒体にはカタログ情報が書き込まれていなくても(即ちブランクメディアであっても)よいことは勿論である。また、データ放送番組で送信されるデータは、記録媒体の内容の一部を更新するものでも、全体を更新するものでもよいことは勿論である。

20 【0081】

【発明の効果】以上述べたように本発明によれば、データ放送を利用して、記録媒体に記憶したカタログ情報の更新が可能であり、十分な商品情報をユーザーに提供できると共に、通信時間及び通信コストの削減が可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施の形態の通信販売システム及びその方法を示す説明図。

30 【図2】本発明の他の実施の形態の通信販売システム及びその方法を示す説明図。

【図3】図1又は図2における受信機の機能的構成を示すブロック図。

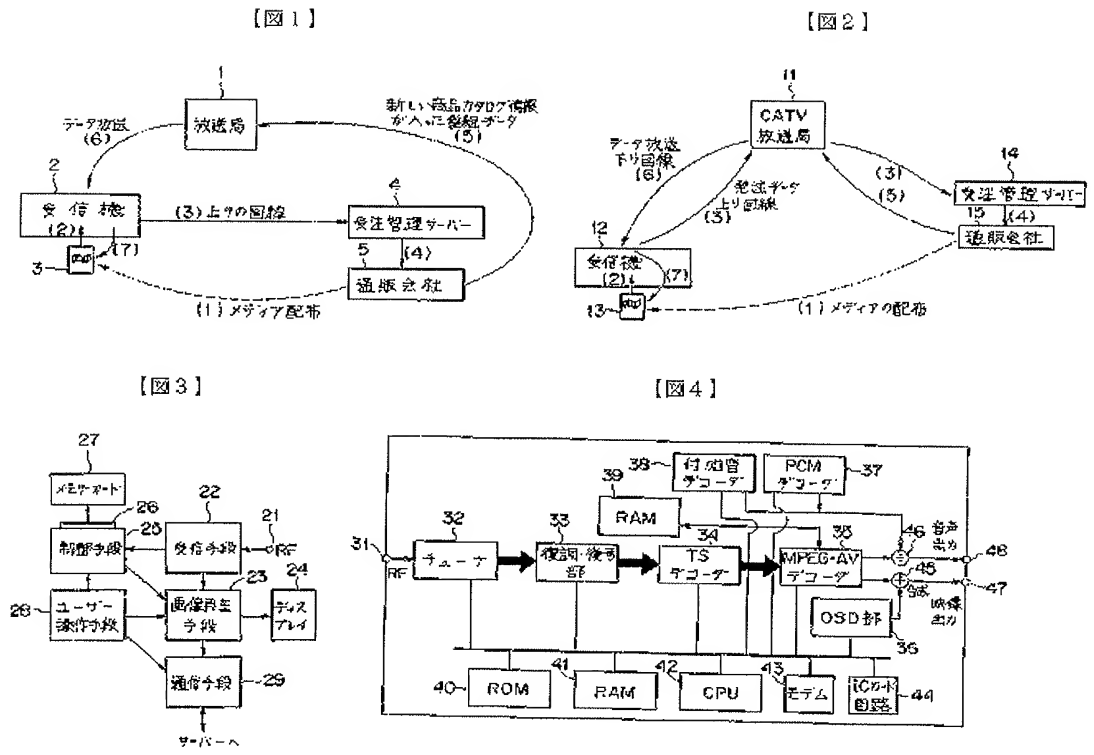
【図4】一般的なデジタル放送受信機の構成例を示すブロック図。

【符号の説明】

- 1、11…放送局
- 2、12…受信機
- 3、13…記録媒体
- 4、14…受注管理サーバー
- 5、15…通販会社
- 22…受信手段
- 23…画像再生手段
- 24…ディスプレイ(表示手段)
- 25…制御手段
- 26…メモ리카ードスロット(記録媒体装着部)
- 27…メモ리카ード(記録媒体)
- 28…ユーザー操作手段



(8) 特開2002-15153



フロントページの続き

| (51)Int.Cl.                    | 識別記号  | F I           | シーコード (参考) |
|--------------------------------|-------|---------------|------------|
| H 0 4 N 7/173                  | 6 4 0 | H 0 4 N 7/173 | 6 4 0 Z    |
| Fターム (参考)                      |       |               |            |
| 5B049 BB11 CC02 CC05 CC08 DD05 |       |               |            |
| EE01 EE07 FF03 FF04 FF09       |       |               |            |
| GG03 GG04 GG07                 |       |               |            |
| 5B075 KK07 KK13 KK20 KK33 KK37 |       |               |            |
| KK40 ND03 ND20 ND23 ND34       |       |               |            |
| PD02 PR03 PR08 UU38            |       |               |            |
| 5C054 BA01 BA07 BB10 BC06 BC16 |       |               |            |
| BC23 BC25 BD02 BD07            |       |               |            |